

せいがくいんだいがく
聖学院大学

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

実施時期	科目名	曜日・時限	授業時間	定員
【大学】 2026年度 春学期 (4月～7月)	キリスト教概論A (※1)	火曜2限 or 火曜4限 or 金曜2限 or 金曜3限	10：40～12：10 15：20～16：50 10：40～12：10 13：00～14：30	若干名
	キリスト教社会倫理B	木曜3限	13：00～14：30	若干名
	キリスト教文化論A	金曜3限	13：00～14：30	若干名
	キリスト教人間学A (※1)	火曜3限 or 金曜4限	13：00～14：30 15：20～16：50	若干名
	キリスト教と音楽A	火2限	10：40～12：10	若干名
	キリスト教音楽史A	火曜3限	13：00～14：30	若干名
	キリスト教と美術A	月曜3限	13：00～14：30	若干名
	キリスト教と日本社会A	木曜4限	15：20～16：50	若干名
	キリスト教と福祉活動の実際A	火曜3限	13：00～14：30	若干名
	法学	調整中	調整中	若干名
	英語圏文化	火曜4限 金曜4限	15：20～16：50 15：20～16：50	若干名
	文化交流史 (アジアと日本)	木曜4限 木曜5限	15：20～16：50 17：00～18：30	若干名
	歴史と文化	火曜3限 火曜4限	13：00～14：30 15：20～16：50	若干名
	比較文化概論	金曜4限 金曜5限	15：20～16：50 17：00～18：30	若干名
	英米児童文学	月曜4限 月曜5限	14：40～16：10 16：20～17：50	若干名
	パネルシアターの理論と方法	木曜2限	10：40～12：10	若干名
	精神保健福祉制度論	火曜5限	17：00～18：30	若干名

※1：複数あるクラスのうち、1クラス選択

【注意事項】

一部の授業の曜日・時限は未定です。
確定次第、県HP（2実施大学・概要—3 募集案内）でお知らせします。

※ 授業回数について

◇週1回授業（15回）

キリスト教概論A、キリスト教社会倫理B、キリスト教文化論A、キリスト教人間学A、キリスト教と音楽A、キリスト音楽史A、キリスト教と美術A、キリスト教と日本社会A、キリスト教と福祉活動の実際A、パネルシアターの理論と方法、精神保健福祉制度論

◇週2回授業（30回・週1回2時間連続を含む）

法学、英語圏文化、文化交流史（アジアと日本）、歴史と文化、比較文化概論、英米児童文学

※ 受講人数により開講しない場合がございます。**※ 学事スケジュールの都合により、一部授業日等が変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。****※ 教員は、担当授業に関するご質問やご相談には対応いたしますが、それ以外の内容にはお応えできかねる場合がございますので、ご了承ください。****※ 授業は4月10日（金）から開始します。****(2) 場 所****聖学院大学キャンパス**

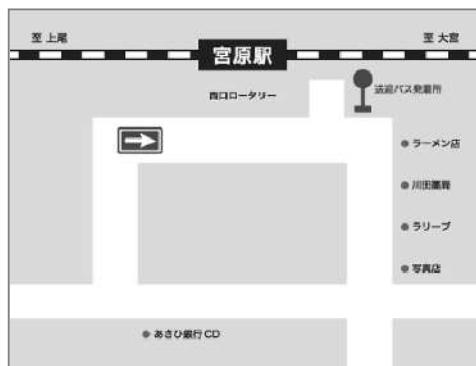
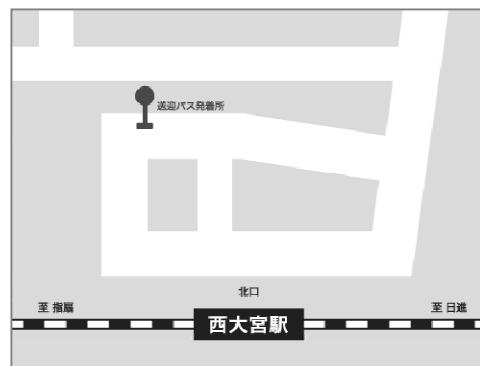
JR高崎線宮原駅から徒歩15分、または学生バス

JR埼京・川越線西大宮駅から学生バス

JR埼京・川越線日進駅から徒歩15分

※学生バスは利用券を購入いただきます。

※車での通学はできません。

【宮原駅西口（高崎線）のりば】**【西大宮駅西口（埼京・川越線）のりば】**

2 受講料等

- (1) 受講料 週1回科目 10,000円
週2回科目 20,000円

※ 2026年度より受講料を改定いたします。
※ 受講料は、後日指定方法にて納入いただきます。
※ 一旦納入された受講料につきましては、お返しすることができませんので、
あらかじめご了承ください。

- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和8年2月27日（金）消印必着

- (2) 申込先 〒362-8585 上尾市戸崎1-1
聖学院大学 学務部教育支援課 リカレント教育係
電話：048-780-1801
E-mail : acadaffairs@seigakuin-univ.ac.jp

- (3) 申込方法

E-mail または 郵便はがきにて、以下の事項をもれなく記入のうえ、お申し込みください。

- ① 郵便番号、住所、電話番号
- ② 氏名
- ③ ふりがな
- ④ 年齢（令和8年4月1日現在）
- ⑤ 生年月日
- ⑥ 性別
- ⑦ 受講希望科目（希望順に記入、何科目でも可）
- ⑧ 学籍番号 ※受講経歴のある方のみ

- (4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
(受講の可否および受講決定科目は申込者全員にお知らせします。)

- (5) その他

- 受講許可科目、ガイダンス日時等は3月20日前後にお知らせいたします。
その際に、個人調書等のご提出をご案内いたします。
- 申し込み後、都合により受講できなくなった場合は、早めにご連絡ください。

○社会情勢(コロナウィルス感染状況等)ならびに授業担当者の都合により、授業の一部をオンラインにて受講いただく可能性がございます。その場合は、大学ではなくご自宅等での受講となりますので、インターネット通信環境・インターネットに接続可能な端末等が必要です。通信料などは受講者負担です。

○本学の授業実施方法、講義内容、事務手続き方法等について、ご承諾のうえお申し込みください。

以上の点につきましても、あらかじめご了承のうえでお申し込みくださいますようお願いいたします。

4 各授業科目の概要及び担当教員

キリスト教概論A 【木村 太郎または 吉岡 光人】	初めてキリスト教に触れる学生たちへの理解しやすいキリスト教入門となるように心がけつつ、春学期は、主として聖書の後半部分の新約聖書について、また、教会の歴史を俯瞰することを通してキリスト教史について学ぶ。
キリスト教社会倫理B 【鈴木 光】	秋学期の「キリスト教社会倫理A」につながる連続した講義です。この「B」では、キリスト教倫理の基本となる「旧約聖書の十戒」や「新約聖書のイエスキリストの言葉や行動」をとおして学びます。 *対面で行われる授業です。 *春学期「キリスト教社会倫理B」→秋学期「キリスト教社会倫理A」の順で進みますのでご注意ください。(先にこちらを履修してから「A」を学ぶことを推奨します)
キリスト教文化論A 【塚本 良樹】	現代日本社会に根づくキリスト教文化を一つずつ取り上げ、考察する。
キリスト教人間学A 【木村 太郎】	キリスト教の三要文の1つである「主の祈り」とそれに関連する聖書の言葉から、キリスト教の基本的な人間理解を、現代社会が抱えている諸課題と共に学ぶ。
キリスト教と音楽A 【渡辺 善忠】	(1)聖書の言葉が音楽でどのように表現されているかを楽曲に親しみながら学びます。 (2)聖書の言葉を受け継いできた教会の信仰について理解を深めます。 「キリスト教と音楽A」(前期)では、旧約聖書に基づいて作曲されたキリスト教合唱曲を中心として、聖書の言葉の解釈・作曲家の信仰・各作品の時代背景の3つの視点から論じつつ、CDやDVDによって作品に耳を傾けます。なお、「キリスト教と音楽B」(後期)では新約聖書による作品を学びますので、通年で受講される方を歓迎致します。
キリスト教音楽史A 【渡辺 善忠】	(1)キリスト教音楽の歴史を、背景の文化も含めて広い視点で学びます。 (2)聖書の言葉を受け継いできた教会の信仰について理解を深めます。 「キリスト教音楽史A」では、キリスト教音楽のルーツであるユダヤ教音楽から宗教改革時代までの教会音楽について、聖書解釈と作品の時代背景から論じつつCDやDVDによって作品に耳を傾けます。聖書と音楽史との関わりをふまえて音楽を理解することを目的とします。なお、「キリスト教音楽史B」では宗教改革以降の作品を学びますので、通年で受講される方を歓迎致します。

キリスト教と美術A 【甲賀 正彦】	授業ごとに美術作品を画像で紹介し、描かれている内容と意味を解説する。また、その背後にある時代的特徴、地域的特徴、作者の特徴などを解説する。それらから作品の意義、問題点を発見する。毎回、150字程度のエッセイを課す。
キリスト教と日本社会A 【鈴木 光】	キリスト教の基本となる聖書をおもなテキストとして学びます。 第一に、その世界観や、イエス・キリストについて、またその行動や教えを知識として学びます。 第二に、それら知識として学んだことを受けて、現在、日本社会にいる各自にとってどんな意味を持つか考察を深めていきます。 *対面で行われる授業です。 *秋学期の「キリスト教と日本社会B」と連続した講義です。
キリスト教と福祉活動の実際A 【吉岡 光人】	キリスト教は「神を愛すること」と「隣人を自分のように愛すること」を最も大切な事柄としてきた。 この土台に立脚してキリスト教会が隣人援助的に社会とかかわってきた歴史を学ぶことによって、今日の社会福祉やボランティア活動の基礎が築かれてきたことを学ぶ。
法学 【渡辺 英人】	「法を守る精神・法令遵守と責任」 「法学」では、みなさんが市民社会に参加するために必要な「ルールと手続き」について学びます。法は人と人が社会の中でいかに上手く生活していくか、という目的のために存在します。いまから法の意味と目的をよく理解し、責任ある個人、良き市民として、社会に参加してください。将来、どのような職業に就いても、この授業で学んだ内容が、必ず役に立ちます。講義内容の中心は「法の概念」「市民社会の法」「消費者と法」「知的財産権」などです。
英語圏文化 【氏家 理恵】	イギリスとイギリスが影響を与えた文化圏について学ぶ。社会や政治、歴史や地理、生活や風俗など、さまざまな角度から現在のイギリスとその文化圏を作り上げている根源について知識を深める。保守的な階級社会からなぜビートルズが出現したのか、礼儀正しいジェントルマンの国のはずなのになぜサッカーのフーリガンとして怖れられる人々がいるのか、なぜ「シャーロック・ホームズ」シリーズのワトソン博士や『小公子』は南アジアから帰ってきたのか、イギリスとその文化圏のさまざまな謎をその歴史や地理や文化を通して考え、イギリスが世界に与えた影響とその結果を現代の様々な事象から見ていくが、それと同時に、そもそも「イギリス文化」「英語圏文化」というものが、ひとくくりにすることができない多様性と広がりを持つこと、さまざまな課題を抱えていることを理解する。文化的背景については日本語資料を資料するが、知識として必要な用語や名言・名句として現在でも引用される表現については英語でも紹介する。
文化交流史 (アジアと日本) 【濱田寛】	慈覚大師円仁撰『入唐求法巡礼行記』をテキストとし、同時代の資料を駆使して本作品の理解を深めるとともに、本作品によって詳細に伝えられる唐代中国のさまざまな文化についての知見を得ることになろう。

歴史と文化 【阿部 能久】	特に日本中世における仏教諸宗や僧侶たちの動向を手がかりに、その時々の権力者や民衆が宗教に何を求めていたのか、そして、仏像をはじめとする優れた仏教美術作品が制作された背景にどのような願いが込められていたのかについて解説していく。
比較文化概論 【杉淵 洋一】	開国後に（主にフランスを中心にして）海外に渡り、その経験をテクスト（それは時に小説であったり、エッセイであったり、日記であったりと様々な形態をとるが）として残した日本の文学者、知識人のそのテクストと、その海外での体験を総合的に分析することによって、日本という国、日本語という言葉を相対化するために彼等がテクストに書き記した言葉と、彼等が異国において見た物や人々についての描写から、文化や言語が変遷、発展、場合によっては対抗していく過程について明らかにしていく。各授業においては、永井荷風、横光利一、井上靖、林英美子、遠藤周作、石川三四郎、小牧近江、椎名其二、芹沢光治良、三岸節子、水村美苗、平野啓一郎、金原ひとみ、及びそれぞれの海外体験にかかわる作品をできるだけ具体的にとりあげていく。
英米児童文学 【松本 祐子】	この授業では、必ずしも読者を子どもと想定していたわけではない昔話からイギリス児童文学の始まりに至るまでの流れ、以後の児童文学に決定的な影響を与えた古典的作品の意味、ファンタジーとリアリズムの果たす役割、さらには現代の児童文学の抱える諸問題について触れながら、英米児童文学の歴史と概要を学んでいく。
パネルシアターの 理論と方法 【田中 正代】	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルシアターの教育的意義と理論を説明できる。 ・基本的な制作技法（素材選び、絵の描き方、貼り方）を習得する。 ・効果的な演出方法（話しかた、動かし方、場面転換）を実践できる。 ・オリジナル作品を企画・制作し、発表できる。
精神保健福祉制度論 【赤畠 淳】	<ol style="list-style-type: none"> ①精神障害者に関する制度・施策の理解 ②精神障害者の医療に関する制度 ③精神障害者の生活支援に関する制度 ④精神障害者の経済的支援に関する制度的支援に関する制度